

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民会議・附属機関等への市民参加及び女性参画推進事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
予算科目	'00-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	事業期間		
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
多様な市民意見が行政運営に反映されています。		必要と認められる附属機関等については委員の公募を積極的に推進します。また、施策等決定過程の場への女性の参画機会の拡大を図るため、附属機関等の女性構成比率を高めるように取り組みます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	公募実施状況等調査及び選出基準周知実施回数						単位	回
	説明・算定式	附属機関等を所管する関係課へ公募実施状況等に係る調査を実施し、あわせて選出基準の周知・指導を行う。							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	目標	1	1	1	1	1	1	1	
	実績	1	1	1					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	市民委員が参画する附属機関等における公募委員の割合						単位	%
	説明・算定式	公募委員数/市民委員が参画する附属機関等委員数×100							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	目標	20	20	20	20	20	20	20	
	実績	17.3	18.1	17.9					
成果指標②	指標名	附属機関等における女性委員の割合						単位	%
	説明・算定式	女性委員数/附属機関等委員総数×100							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	目標	40	40	40	40	40	40	40	
	実績	32.3	33.4	33.4					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成25年度の主な取組と成果									
女性委員数の割合については、25年度は33.4%で、前年度と同じです。公募委員の割合については0.2ポイント減の17.9%となっています。									
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	附属機関等における公募委員及び女性委員の選出割合を高めていくことは、多様な意見を市政に反映させるためには必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	附属機関等における公募市民や女性委員の割合を高めることは、市民の視点に立ったサービスの提供につなげていくためには、有効な手段であると考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「附属機関の設置及び委員の選出に関する基準」及び「附属機関への女性の参画促進について(指針)」に基づき、公募市民や女性委員の割合を高めることは、多様な市民意見を反映させる手法として妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公募委員と女性委員の選出割合を改善していくための手法については検討の余地があるかと考えます。	<input type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input checked="" type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		附属機関の委員については、各種関係機関に委員の推薦を依頼しているものが多く、それら関係機関における女性比率の向上が女性委員の増加につながるものと考えます。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 試算額	平成28年度 試算額	平成29年度 試算額
事業内容		附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	-	-	-	-
内訳	職員 (人)	0.25	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,026	2,004	1,590	1,563	1,563	1,563	1,563
フルコスト (A+B)		2,026	2,004	1,590	1,563	1,563	1,563	1,563

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<判断理由>	公募委員と女性委員の選出割合の向上について引き続き各担当課への働きかけを行うこととし、現状規模での継続とします。
平成27年度の取組方針	公募委員と女性委員の選出割合の向上について、引き続き各担当課に働きかけを行います。
課長コメント	引き続き、公募委員と女性委員の選出割合の改善に向けて、各担当課への働きかけを行っていく必要があると考えます。

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民と市長の対話集会実施事業		
事業担当	市民部 市民情報・相談課		
予算科目	'00-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	事業期間		
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民の視点からの発想を活かした行政運営が進み、市政への理解が深まっています。		市長が地域に向かい市民と直接意見交換を行い、市民からの様々な意見や提案を可能な限り行政運営へ反映します。また、市民との情報共有を進めるため、会議の概要や結果について公表します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	「市長と語ろう！ほっとミーティング」の実施回数						単位	回
	説明・算定式	市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に向き、市民と直接対話を実施した回数							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績		16	11	5	-	-	-	
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績								
成果指標①	指標名	市民から提案され検討する意見の件数						単位	件
	説明・算定式	「市長と語ろう！ほっとミーティング」で市長と意見交換した市民から提案され検討する意見の件数							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績		32	22	30	-	-	-	
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成25年度の主な取組と成果									
市長が市内12地区（地区自治会連合会単位）を訪問し、市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、「あなたの地域のまちづくり」をテーマに対話集会を実施しました。計319人（参加者161人、傍聴者158人）の市民の参加がありました。結果については、報告書としてまとめ、参加者にフィードバックしました。なお、対話集会の内容及び意見の市政への反映状況は、ホームページ等により広く市民に情報提供を行っています。									
平成25年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に出向き、市民と直接対話を行うことで、市民の理解を深め、市民の視点から行政運営を行うため必要な取組です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民からの生きた声を聴取し、市全体のまちづくりや市民満足度を高めた政策・施策展開に反映します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民に身近な市政の実現のため必要です。また、地域の課題を地域の皆さんと一緒に考えることは協働の観点からも妥当な事業です。現行の業務執行体制で取り組んでいきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	地域ごとの課題を広く聴取し市政に反映するものであることから、行政が直接行うべき事業です。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		12地区で実施した対話集会により寄せられた意見等の市政への反映状況の確認と施策への反映に努めていきます。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 試算額	平成28年度 試算額	平成29年度 試算額
事業内容			市長が各地区を訪問し、市民との対話により地域の課題等を広く吸収	市長が各地区を訪問し、市民との対話により地域の課題等を広く吸収	市長が市民との直接の対話により、市政に関わる課題等を広く吸収			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.95	0.95	0.95	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	7,615	7,551	7,423	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	7,615	7,551	7,423	0	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<判断理由>	平成26年度は、引き続き市民が主体のまちづくりを進めるため、新市庁舎を会場に、市長が市民と直接対話し、市政に関わる課題等を広く吸収します。平成27年度以降の事業の方向性については、手法、位置づけ等を含め、引き続き検討します。
平成27年度の実行方針	
課長コメント	市長が市民の皆様との直接対話をとおして、市民のご意見やご提案をお聞きし、市長が市政の運営に活かしていく目的で実施している「市長と語ろう!ほっとミーティング」は、市民が行政の理解を深めていくためにも重要な取組であると考えます。今後、いただいた意見等を施策にいかんにか反映していくかが課題であると考えます。

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民意識調査あり方検討事業		
事業担当	企画政策部 企画政策課		
予算科目	'00-'xxxxxx-'xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成25年度 ～ 平成25年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民ニーズ等把握の新しい手法である市民意識調査の目的や実施方法等が検討され、調査の実施に向けた準備が整っています。		新たに行う市民意識調査について、調査の手法や内容を検討の上、調査票（案）を作成し、実施に向けた準備を整えます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	市民意識調査に関する検討の進捗率						単位	%
	説明・算定式	事業仕分けの意見等を踏まえた調査手法や調査内容の検討							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績			100	—	—	—	—	
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績								
成果指標①	指標名	市民意識調査の調査票（案）の作成						単位	%
	説明・算定式	検討結果に基づき、調査票（案）を完成させる							
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績			100	—	—	—	—	
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成25年度の主な取組と成果									
平塚市民の意識や要望等を経年的に調査することで市民生活の変化やそれに伴う意識の変化を捉え、また、総合計画に基づき実施している本市のまちづくりに対して市民がどのように感じているのかを把握し、今後のまちづくりの基礎資料として活用することを目的として調査票を作成しました。平成25年11月には調査票を用いた平塚市市民意識調査を実施し、平成26年3月に調査結果報告書を作成しました。									
平成25年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	時代の変化に伴い市民ニーズも変化しており、市民が何を求めているのかを把握し、施策へ反映させるために必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	まちづくりへの市民参加を保證するとともに、市民の視点に立った施策を検討するために有効と考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の意識やニーズを市の施策へ反映させる手段とするため、調査の手法や内容を検討します。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	作業プロセスを工夫することで作業の短縮化に努めます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 意識調査を継続的に実施していくことで市民生活の変化やそれに伴う意識の変化を捉えていくことが必要です。また、調査結果を分析し、まちづくりの基礎資料として活用していくことが求められています。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 試算額	平成28年度 試算額	平成29年度 試算額
事業内容				経年調査項目 や特定調査項目 などを検討し、 調査票(案) を作成する。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	3,180	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	3,180	0	0	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の事業の方向性 <input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合
<判断理由> 調査手法や内容を検討し、新たな市民意識調査を実施しました。今後は検討の結果実施した市民意識調査を継続的に行ってまいります。
平成27年度の実行方針
課長コメント 庁内他課の調査とのすみ分けや、他市の事例等を考慮し検討を行った結果、新しい市民意識調査を行いました。今後は見直しを行いながら、より有意義な市民意識調査を実施してまいります。